



今月の内容

02 まちの話題

04 **特集** 「みやだいず物語」はじまる

12 帰っておいでよ、ふるさとへ

14 1月は償却資産の申告月／都城市文化賞

15 適正飲酒のすすめ／
12月は飲酒運転根絶強化月間

16 人の風景

18 INFORMATION（市からのお知らせ）

26 行こうよ！ まるまる！／図書館だより

27 美術館情報／施設紹介／
歴史探訪／伝承館だより

28 盆地生まれの元気レシピ！

29 国際交流員のひとりごと／わけもん通信／
今月のお便り

30 みやこんじょ盛り上げ隊！／今月のプレゼント

31 NPO通信／安全・安心情報／
番組紹介／現住人口／編集後記



晴れやかに祝う、結婚50年の節目！

都城市合同金婚式を10月16日、総合文化ホールで開催しました。50年の金婚を迎えた125組が出席。出席者を代表して、前自治公民館連絡協議会会長の坂元晃さん（五十町）が「妻のおかげでここまで夫婦生活を続けて来られた。亭主関白で妻に支えてもらった分、残りの人生は妻を中心に、愉快地楽しく過ごしていきたい」とあいさつしました。式典後は落語家の桂歌春さんによる落語会も行われ、祝賀ムードの会場に、たくさんの笑顔が溢れていました。



まちなか活性化の取り組みに感謝！

18年前から中心市街地の活性化をテーマにした「コマーソウル都商」に取り組み、4月に開館したMallmallの来館者数100万人突破にも貢献した都城商業高校に10月31日、池田市長が感謝状を贈呈しました。四位優菜さん（商業科2年）は「前日に1万人の来客予定を聞き、驚いたと同時にお客さんに満足してもらえるように頑張った。100万人突破に貢献できてうれしかったが、地域を活性化するのはとても大変なことだと実感した」と真剣な眼差しで話しました。

まちかどインタビュー

都城盆地を眼下に 大空を舞う！

大学のサークル19人で、金御岳杯南九州ハンググライダー大会に参加しました。初めてこの大会に参加しましたが、景色も良く、飛び立つためのランチャー台や着陸場など、きれいに整備されていて、とても飛びやすかったです。来年もぜひ、参加したいです。



九州大学文学部2年
しろず なほ
白水 南帆さん

今月の表紙

おいしい豚肉と大豆を いただきます！

ふるさと納税の寄附金を財源にした、ふるさと給食や、地産地消週間で市内の小・中学校の給食において、地元農産物を提供。観音池パークなどを使った給食を、児童・生徒らは満足そうに頬張りました。





天高く、
肉食す秋

秋晴れに恵まれた10月20日、都城焼肉カーニバルが、観音池公園で開催されました。市内外から約5万人が来場。来場者らは用意された炭火コンロで都城産の牛肉や豚肉、鶏肉などを堪能しました。焼肉終了後は、一万発を超える花火が夜空を華やかに色どり、会場からは感嘆の声が上がりました。



子どもによる
子どものための祭り

小学5・6年生の子ども実行委員が中心となって企画から運営までを行う「子どもフェスティバル」が10月14日、中央公民館で開催されました。お化け屋敷やミニゲーム、工作体験などのコーナーが設けられた会場に、家族連れら約2,500人が来場。イベントを楽しむ子どもたちの歓声が響いていました。



楽しみながら
環境を学ぶ

都城市リサイクルプラザ「さいせい館」で10月27日、都城市環境まつりが開催されました。「ごみ分別でごみ減量」をテーマに、ソーラーバッチ製作教室などの体験コーナーや環境啓発の絵画展示、ステージイベントなどを企画。会場には、楽しみながら環境を学ぶ子どもらの笑顔があふれていました。



初めての歌舞伎に
心躍らせる

NPO法人伝統文化みらい塾による歌舞伎鑑賞教室が10月25日、菓子野小学校で開催されました。豊かな心づくりを進める小・中学校アウトリーチ事業の一環として行われた本教室。児童らは、歌舞伎の歴史と隈取りを学び、源義経と弁慶が相対する「五条橋」の鑑賞などに目を輝かせていました。



商店街を暖かく彩る
手作りイルミネーション

都城の冬の風物詩となったまちなかイルミネーションの飾り付けが、11月の上旬から中旬にかけて行われました。中央通り12番街でも11月15日に飾り付けを実施。ほおずきを使った手作りイルミネーションのオレンジ色のやわらかい光が、1月14日(月)まで来場者を出迎えています。



威風堂々、
弥五郎どんの浜殿下り

文化庁から無形民俗文化財に選択されている山口弥五郎どん祭りが11月3日、的野正八幡宮周辺で開催されました。身の丈4mの弥五郎どんを先頭に、獅子舞やみこしなど約120人が浜殿下り。弥五郎どんに触れると1年間無病息災で過ごせるとの言い伝えから、多くの人が我先にと手を伸ばしていました。